

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 3 月 15 日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3493900017		
法人名	医療法人社団ひがしの会		
事業所名	グループホームきんせん花		
所在地	広島県豊田郡大崎上島町木江5017番地 (電話) 0846 - 67 - 0107		
自己評価作成日	平成25年2月15日		
評価結果市町受理日	平成	年	月 日

### 【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

グループホームきんせん花のコンセプトは、「この島で暮らしたい」「その人らしく」「専門職との連携」です。瀬戸内海に浮かぶ大崎上島には海や山と自然が満ちあふれ、ゆったりとした時間が流れています。施設には畑を作り、お客様と職員と一緒に野菜を育てています。また、採れた野菜はお客様と一緒に調理し、食事としても提供しています。お客様お一人おひとりの主体性を大切に「個別ケア」を実践しております。同法人の介護老人保健施設専門職との連携を行っており、現在は管理栄養士の献立作成指導や調理師の調理指導にて食事面でのサービスの質の向上に取り組んでおります。

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先UR	
------------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 NPOインタッチサービス広島
所在地	広島市東区福田1丁目167番地
訪問調査日	平成 25 年 3 月 13 日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

平成24年5月1日の事業所開設に当たり、事業所名を全職員から公募し、町村合併前の旧木江町の町花にちなみ「きんせん花」と名付け、地域に根差しいつまでも咲き続ける事業所を目指している。現在の利用者は全員がこの島の人で、顔馴染み、友人・知人、先輩・後輩の良き人間関係が継続されているうえに、旧木江小学校の跡地に立つこの事業所の存在が町民との交流を深めることにもなり、正に地域と密着したグループホームとなっている。利用者は住み慣れたこの島の家庭的で落ち着いた環境の中で職員やグループ内老健施設の専門スタッフのサポートを受けながらその人らしく生き生きと楽しく生活しており、事業所の中は、にぎやかな話し声と明かるい笑顔に満ちている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	グループ理念「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」をもとに、毎年事業方針を設定し、実現に向けて、職員の個人目標も設定している。個人目標の進捗状況は、毎月の職員会議にて行っている。年度末には評価し、次年度へとつなげている。	法人グループの理念とホーム独自の事業方針を玄関や事業所の目につきやすい場所に掲示して全員で共有するとともに、個人目標を設定し、その進捗状況をチェックしながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町民運動会、町民文化祭、盆踊り、町内清掃活動、地域の合同避難訓練、スポーツ大会などの地域行事の積極的に参加している。	町内会にはまだ加入していないが商工会には加入し木江地区の溝掃除等の清掃活動や地域の合同避難訓練、祭りやスポーツ大会などに積極的に参加している。開設後1年であるが、知人・友人の訪問もあり、地域とのつながりを大切にできる姿勢が感じられる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	他法人の指定障害福祉サービス事業所と連携し、きんせん花駐車を開放することにより、定期的に指定障害福祉サービス事業所のパン屋が販売に来ている。入居者の方や木江地区の方々も購入に来られ、その際地域との交流の時間として活用出来ている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営状況や行事の報告を行い、各委員より意見をいただきサービスの質の向上につなげている。また、お客様ご家族へ定期的に送付しているお客様の日常写真をまとめたDVDを鑑賞してもらい施設の様子を確認してもらっている。	2か月に1回会議を開催し事業所の活動状況を報告するとともに参加者の意見や助言を受けてサービスの質の向上に活かしている。会議の参加メンバーは町介護保健課職員、包括支援センター職員、民生委員(地域住民代表)、利用者家族、事業所管理者、介護支援専門員等である。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町担当者には毎回運営推進会議に参加していただいている。毎月開催されているケアマネ協議会へは職員が必ず参加し、情報の交換を行っている。	町の担当者や地域包括支援センター職員とはよく情報交換を行ない、問題点や相談事に対し意見や助言をいただいている。また、ケアマネ協議会への参加等を通じて積極的に町との協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止について勉強会を開催し、職員の理解を深めている。	身体拘束の弊害についてはよく認識しておりマニュアルを整備するとともに、研修やミーティングを通じて職員の意識向上に努めている。玄関は夜間以外は施錠せず、見守り重視のケアを行なっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止について勉強会を開催し、職員の理解を深めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。	研修にて学習する機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者、家族様が納得し理解できるよう十分な説明を行っている。疑問点が無いか合間に尋ね対応している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に一度アンケートを行い、満足度の調査を行っている。また、家族会開催時には意見交換会を行い、改善に努めている。	家族との面会時の会話やアンケートにより、意見や要望を運営に反映させるように努めている。また、ご意見箱を玄関に設置するとともに、重要事項説明書に苦情の申立制度を明記し対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議、職員会議と月2回会議を開催し、職員の意見を吸い上げている。	全体会議やミーティングで職員の意見や提案を聞く機会を設けており、代表者および管理者はその内容を把握し運営に反映させている。	開設後1年目の自己評価は管理者・リーダー主導で作成されているが次年度からは全職員参加で作成されることを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個人目標達成シートを使用しを各個人目標を設定。設定時、中間時、最終時と年3回の面談・評価を行い目標達成へ向けて支援を行っている。また、職場環境やの改善やその他意見等の交換する場としている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員個々の力量を明確にし、的確な項目の研修へ参加を促している。また、職員より参加希望のあった研修へは積極的に参加できるように対応している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	大崎上島内町で開催されている「ケアマネ協議会」へ毎月参加し、地域の情報交換や勉強会へ参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の事前訪問でご本人様と面談をさせていただき、不安や思いを聴く機会を設けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前の施設見学やパンフレットを用いた説明を行い、施設の取り組みを理解していただいている。また、不安な点や家族としての思いを聴く機会を設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	入居前の事前訪問でご本人様・ご家族様の要望を聴いている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	洗濯物干しや取り込み、洗濯物たたみ、日々の買い物、食事の調理や下ごしらえ、掃除などお客様お一人おひとりの能力に合わせたお手伝いをして頂き、色々な知恵や知識を教えていただいている。また、手伝いをしていただいた後は必ず職員より感謝の言葉を伝えている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族会や意見交換会の場を持つことや、毎月のお手紙を送っている。ご家族様と職員が共にお客様を支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの人が来られた時はあたたかく迎え、お部屋やリビングでゆっくりと話をさせていただくよう配慮している。また、馴染みの場所へはドライブの際に行っている。	利用者全員がこの島の人で日常の散歩や外出では住み慣れた町で自然にあいさつを交わしたり知人・友人の来訪歓迎、馴染みの場所へのドライブ等で地域との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お客様同士の関係を職員が把握し、うまく関係が保てるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居され、他施設へ行かれた方のご様子を伺いに訪問し、経過を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お客様の希望や意向を大切にし、可能な限り実現に向けて取り組んでいる。把握が困難な場合は本人本位に家族様と一緒に検討している。	利用者との毎日の会話、家族との面談等から希望や意向を把握し、それぞれ本人本位の生活ペースに合わせた支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に本人様家族様より生活歴等の情報を聴き把握している。また、入居中の様子や本人様から教えてもらっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日々の様子より心身の状況を記録し把握している。お客様お一人おひとりに職員を個人担当者とし、本人様とご家族様と個別的な関係を築いている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	サービス担当者会議を開催し、本人様・ご家族様の希望や思いを聞き、ケアプランを作成している。また、モニタリングを行い見直しを行っている。	入居時に利用者や家族の希望や意見をよく聞き、関係者で意見を出し合って長期・短期の目標を定めた介護計画を作成している。 計画の実施状況を毎日のモニタリングで確認するとともに状況の変化に応じて見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は、個人記録へ記録し職員間で情報の共有を行っている。モニタリングの際にも活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人様の状況や状態に変化があればご家族様へ連絡、協議を行い、きんせん花で可能な限りのサービスの実現へ取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域行事には可能な限り参加をし、地域の一員であることを感じていただく機会を設けている。近所の商店やスーパー、役場へ出掛けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	かかりつけ医は本人様とご家族様の希望を大切に、決めていただいている。適切な治療が受けられるよう事業所とかかりつけ医の間で情報のやり取りを積極的に行っている。	利用者や家族の希望があれば、引き続きかかりつけ医の受診ができるよう支援している。 事業所はかかりつけ医と緊密な連携をとり介護に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員は、日頃のなかで気になった点や身体状態を各主治医や看護師へ伝え、指示をもらって対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の関係者との情報交換を密に行い、状況の確認や退院へ向けての相談を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	重度化した場合には、どのように今後ケアを行っていくか、事業所で出来るケアの説明を行い、ご家族様の意向にそうように努めている。	「重度化した場合の対応指針」に基づき入居時に話し合い、方針を関係者で共有している。その後も状況に応じて、その都度対応することになっている。なお、法人グループ内には介護老人保健施設「みゆき」があり体制は整っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応方法の勉強会を定期的に行っている。マニュアル作成し、職員へ周知している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	地域の合同避難訓練に参加したり、消防署の指導の下、避難訓練を行っている。	防災計画に基づき、年2回、消防署の指導と地域の協力を得ながら、日中、夜間を想定した訓練を行なっている。今年度はこのほかに津波を想定した「地域合同避難訓練」にも参加した。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	勉強会にて職員が知識を身に付け、お一人おひとりを尊重し、プライバシーの保護に努めている。	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを傷つけずそれぞれの個性や人格を尊重した言葉かけや対応をするよう心がけ、研修を行なっている。また個人情報には細心の注意を払い厳重に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人様の意思決定が出来るように声かけを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日々の体調や気分に合わせて本人様のペースを尊重し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人で選ぶことができるよう支援している。自分で選ぶことが困難な方には、職員が準備したものを確認して了解を得ている。散髪はお客様の希望に応じてボランティア(有料)の来てもらい散髪してもらっている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	畑でお客様と育てた野菜と一緒に調理したり、献立を一緒に考えたりしている。何が食べたいかアンケートを実施し、献立に取り入れれたりもしている。	献立表の作成・食材の調達・食事の準備・片付けまで、全て職員と利用者が一緒に行なうなど家庭の楽しい食事風景が見られる。特に献立表は「検食簿」を兼ねており、毎食ごとに味付け・量・食べやすさなど6項目のチェックを行ない、栄養士の評価を受けて今後の改善につなげている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量、水分量を毎日記録している。個々にあった食事形態や飲み物の提供を行い工夫している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄状況を把握し、トイレ誘導やポータブルトイレへの誘導を行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンをよく把握し動きや表情を見てその人に応じたトイレ誘導を行ない気持ちよく排泄できるよう、自立に向けた支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日体操の時間を設け、便秘予防をしている。また、散歩にて身体を動かし、便秘の解消に努めている。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ゆっくりと安全に入浴できるよう、お客様と職員1対1で行っている。	浴室は家庭的で最新の介護設備を備えており、利用者一人ひとりの体調や希望に合わせてゆっくりと入浴できるよう職員は1対1の入浴支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活習慣や身体状況に応じて休息していただいている。夜間眠れない場合は、職員が付き添って話を聞いたり不安を解消するよう努めている。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の内容や服薬時間が分かるよう表に取りまとめている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	お茶をたてたり、畑の世話をしたり、買い物に出かけたりとお一人おひとりのその日にやりたいことを聞き、お客様と職員が一緒に行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ドライブを行ったり、天気の良い日は近所の散歩、個人的な買い物、食材の買い物はほぼ毎日お客様と一緒にしている。	個人的な買い物や食材の調達に近くの農協やスーパーへ出かけたり、近所の散歩や庭の畑での野菜・花づくりなど一日一回は外に出る機会を持てるよう取り組んでいる。また花見など季節ごとの外出やドライブ、地域行事への参加など積極的に外出を支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	紛失の恐れがあるためほぼ立替払いにて対応している。本人の希望でお金を所持しておられる方はご自分で支払いをされることもある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話に関しては、職員を通じて連絡をさせてもらっている。家族からの電話があった際は出ている。手紙に関しては、本人の希望にそって対応している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	オープンキッチン使用のため、食事のにおいや調理の音が聞こえ五感を刺激することで食欲の増加に努めている。畳のスペースを設置し、くつろげる空間をつくっている。	玄関・廊下やリビング兼食堂は程よい広さがあり、明るく清潔であり、共用スペースに置かれたソファと畳の間によりくつろげる空間を確保している。空調・照明・音などは適切に保たれている。季節の生け花や利用者の作品が飾られ、家庭的な雰囲気作りがされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	1階2階のお客様の交流を目的とし行き来する機会を多く設けている。ソファやたたみを設置しお客様お一人おひとりが自分の時間を過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	慣れ親しんだものや好みのものを置かれ、居心地の良い空間になるよう工夫している。	ベッド、タンス、クローゼット、エアコンなどは全て完備されており、利用者は使い慣れた生活用品や装飾品を持ち込み、それぞれ思い思いの飾り付けを行ない自分の家として安心して過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや浴室、廊下のは手すりがあり移動しやすいようになっている。また、トイレの表示や居室の表札（本人、家族の同意を得て）を表示し混乱のないようにしている。		



V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

### 3 サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。  
「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

#### 【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/> ① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/> ② 利用者へのサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/> ③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/> ④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した
		<input type="checkbox"/> ⑤ その他（ ）
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/> ① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/> ② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/> ③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/> ④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/> ⑤ その他（ ）
3	外部評価（訪問調査当日）	<input type="checkbox"/> ① 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/> ② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/> ③ 対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/> ④ その他（ ）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	<input type="checkbox"/> ① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/> ② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/> ③ 市町へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/> ④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/> ⑤ その他（ ）
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/> ① 職員全員で次のステップに向けた話し合い、「目標達成プラン」を作成した
		<input type="checkbox"/> ② 「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力やモニター依頼した（する）
		<input type="checkbox"/> ③ 「目標達成プラン」を市町へ説明し提出した（する）
		<input type="checkbox"/> ④ 「目標達成プラン」に則り、目標を目指して取り組んだ（取り組む）
		<input type="checkbox"/> ⑤ その他（ ）

## 2 目標達成計画

事業所 グループホーム きんせん花

作成日 平成 25年 3月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価をもとに職員一同で次のステップへ向けた取り組み目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎにならないよう、事業所の現状に合わせた取り組み課題を取り上げ、優先順位を決め目標達成に向けた具体的な取り組み内容を記入してください。

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	11	自己評価を作成する際、全職員参加で作成できていない。	次年度の自己評価作成は、全職員参加で行うことができる。	外部評価実施の際は、職員会議にて自己評価作成を行う。	次年度自己評価作成時
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。